

わかぎ

2018年 3月号
(3月1日発行)



“ポリファーマシー対策”

ポリとは『多くの』、ファーマシーとは『薬』という意味です。ポリファーマシーは明確な定義はないものの、複数(6剤以上)の薬を飲んでいることを指します。日本では以前から、患者さんに処方する薬が多いことが問題とされてきました。2015年の厚生労働省の統計によれば75歳以上の高齢者の4人に1人が7種類以上の薬を使っているというデータもあるくらいです。薬には副作用や相互作用がありますので、飲む薬が多ければ多いほど副作用や相互作用が増える可能性があります。薬を多く飲むことで、転ぶことや認知症が増えたりすることも分かっています。

なぜ、必要以上に多くの薬を飲むことになってしまうのでしょうか？

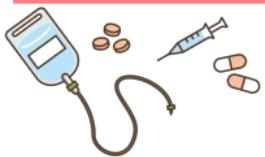
治療に必要な薬の副作用対策として更に薬が追加されてしまう場合、複数の医療機関にかかり、薬が重複してしまう場合などが考えられます。

当院では、入院をすることが、今までに飲んでいる薬の確認、整理をする良い機会ととらえ、小山地区医師会と協力して入院中にポリファーマシー対策を行っています。

薬を減らす場合は、当院の病棟薬剤師が主治医や総合診療科医と協議して、薬を処方している『かかりつけ医』の了解のうえで減らします。『かかりつけ医』に遠慮して、薬を減らすことに決心がつかない患者さんが時々いらっしゃいます。薬を減らした結果については、当院から『かかりつけ医』にお知らせしますので、ご安心していただければと思います。

平成30年3月

新小山市市民病院 薬剤科長 坂田 晋



「抗がん剤のイメージって？」

抗がん剤治療をすると「髪が抜けちゃうのかしら?」「吐いてしまうのでしょうか?」「仕事ができなくなるのかしら?」といったイメージを持たれている方が多いかと思います。

一人ひとり顔が違うように、「がん」といっても種類や状況によって使用する抗がん剤治療は異なり、治療により出てくる症状(副作用)も変わってきます。

抗がん剤治療を行う患者さんやご家族が、治療を選択する時、不安や疑問なく治療に臨めるように、また、治療に伴い出現する副作用に対して、どのような対策を取ることができるかを一緒に考えていきたいと思えます。

抗がん剤治療についてご相談がある方は、総合受付、または13番外来受付にお声掛け下さい。

担当：がん化学療法看護認定看護師 寺門 裕子



病院からのお知らせ

選定療養費について

当院では、国で推進するかかりつけ医との連携を更に推進するために、4月より紹介状をお持ちでない初診の皆さまには、**初診時選定療養費**として**3,240円（税込）**のご負担をいただきます。ご了承ください。



婦人科診療体制の変更

婦人科外来は、月曜日～金曜日（予約制）に患者さんを受け入れて参りましたが、平成30年4月より、非常勤医1名体制となり、診療体制の縮小をせざるを得ない状況となりました。

つきましては**毎週月曜日**と**第4水曜日**の診療となり、初診患者さん(紹介患者さんを含む)につきましては、**予約制**に変更をいたします。



「下肢静脈瘤カテーテル治療を開始しました！」

この度、新たに「下肢静脈瘤血管内焼灼用高周波治療装置」を導入しました。

この装置は、高周波エネルギーを使用した下肢静脈瘤のカテーテル治療装置です。

従来の血管を抜去する方法と比較して、血管を抜去せずその場で焼き塞いでしまうので、内出血や疼痛が少なくなり、局所麻酔下での日帰り手術が可能となりました。

なお、本装置による治療の適応、詳細に関しては、担当の医師にご相談ください。



「骨密度測定装置が新しくなりました！」

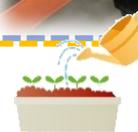
この度、老朽化した骨密度測定装置を最新式へと更新しました。

この装置は、高速モードと高精細モードを備えており、高速モードでは約7.5秒で前腕を検査でき、静止が困難な高齢の方も短時間検査が可能となります。また、高精細モードでは約30秒の検査時間で、骨粗しょう症の治療における治療薬使用時の微少な骨密度変化を捉えることができ、投薬効果判定の精度向上が期待されます。

健康寿命を延ばすことに関心が高まっている昨今、ぜひ、担当の医師にご相談ください。



病院を彩るもの～病院ボランティア



病院に入ると、緑のエプロンをつけた方々が患者さんの対応をしている姿を見かけると思います。院内ボランティア「野のはな」さんです。10年以上前から当院専任で活動を行っているボランティア団体です。車椅子の乗降、院内の案内、再診受付機・自動精算機の利用案内などの活動を通し、患者さんへの支援を続けています。

また、玄関前の花時計、その東側に広がるイングリッシュガーデンで四季折々に咲き乱れる花々が、心に安らぎを与えてくれます。その手入れも園芸ボランティアの皆さんが行っています。毎月第2・第4日曜日、夏の暑い朝でも冬の寒い朝でもご参加いただき、除草、剪定のほか、今冬からは枯葉を用いて腐葉土作りを行っています。朝の活動はとても清々しいものです。

その他、院内には図書ボランティア、レクリエーションボランティアとして「なごみの会」「なつかしの童謡会」「美音笑」のグループ活動、バイオリンやギターのコンサート、腹話術、絵画やバルーンアート展示など、多くのボランティアさんが活動されています。ボランティアのみなさんの尊いおこころざしが、病院を彩り安心や癒しを与えてくださいます。

今回、「野のはな」と園芸ボランティアのメンバーを募集しています。

一緒に活動に参加してみませんか。

